

## 第6章 計画の基本的な方針・目標

本計画を策定するにあたり、道南地域の公共交通の課題を踏まえ、基本的な方針と目標を整理する。



| 6-1 | 計画の基本的な方針（在るべき姿）

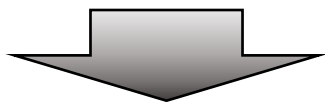
| 6-2 | 計画の目標

## | 6-1 | 計画の基本的な方針（在るべき姿）

本地域の地域公共交通を取り巻く現状と課題を踏まえ、本地域の交通体系の「在るべき姿」となる「計画の基本的な方針」を定める。

### 現状（問題点）

- ① 止まらない路線バス利用者の減少
- ② 路線バスを取り巻く環境の悪化
- ③ 北海道新幹線札幌開業による交通体系再構築の必要性



### 課題

- 地域の実情に応じた持続可能な公共交通の確保



### 計画の基本的な方針（在るべき姿）

- ① 地域住民の日常生活や周遊観光に不可欠な広域路線の維持・確保
- ② 他の交通モードとの接続強化など広域路線の利便性の向上

#### 用語解説

計画の基本的な方針：地域旅客運送サービスの在るべき姿のこと。問題点・課題整理、上位計画・関連計画や地域公共交通の活性化及び再生の促進に関する基本方針を踏まえて設定。

計画の目標：基本的な方針（地域旅客運送サービスの在るべき姿）を実現するために、計画期間中に達成すべきこと。地域旅客運送サービスの問題点・課題に対応させる必要

## | 6-2 | 計画の目標

計画の基本的な方針を実現させるため、「計画の目標」を定める。

### 計画の基本的な方針（在るべき姿）

- ① 地域住民の日常生活や周遊観光に不可欠な広域路線の維持・確保
- ② 他の交通モードとの接続強化など広域路線の利便性の向上



### 計画の目標

- ① 持続的な公共交通ネットワークの構築

#### <考え方>

人口減少等による利用者の減少や運転手の確保など、公共交通を取り巻く環境は厳しい状況であるが、地域住民の日常生活を支えるために欠かせない移動手段を維持・確保していくため、関係市町や交通事業者等との協働により、将来にわたり持続可能な交通ネットワークの構築を図る。

#### <数値指標・目標値>

計画の目標①を実現するために、計画期間中に達成すべき数値指標・目標値を下表のとおり設定する。

	数値指標	現状値	目標値				
		R4 (2022)	R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)
1	広域路線の年間輸送人員	1,848 千人	1,885 千人	1,904 千人	1,923 千人	1,942 千人	1,961 千人
2	広域路線の経常収支率	52.5%	53.5%	54.5%	55.5%	56.5%	57.5%
3	広域路線への補助（公的資金投入額）	478 百万円	468 百万円	463 百万円	458 百万円	453 百万円	448 百万円

#### <数値指標・目標値の考え方>

本地域の人口減少が急速に進む中で、中・長期的には大きな改善は期待できないが、

直近では、新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んでいた需要の回復が見込まれており、更に、地域における収支改善や利用促進の取組、本計画の施策・事業の実施により、年1%の改善を目標とする。

## ② 公共交通に対する意識醸成や利便性の向上等による利用促進

### <考え方>

公共交通機関の持続性を確保していくため、地域住民への広報活動による公共交通利用の意識醸成や利便性の向上等による利用促進を図っていく。

「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界遺産登録による来道者の増加や新型コロナウイルス感染症の流行により落ち込んでいた観光入込客の回復が見込まれることを踏まえ、観光誘客の取組と連携させた公共交通利用の促進策について検討を進める。

### <数値指標・目標値>

計画の目標②を実現するために、計画期間中に達成すべき数値指標・目標値を下表のとおり設定する。

	数値指標	現状値	目標値				
		R4 (2022)	R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)
1	広域路線の年間輸送人員〔再掲〕	1,848千人	1,885千人	1,904千人	1,923千人	1,942千人	1,961千人
2	広域路線の経常収支率〔再掲〕	52.5%	53.5%	54.5%	55.5%	56.5%	57.5%
3	広域路線への補助（公的資金投入額）〔再掲〕	478百万円	468百万円	463百万円	458百万円	453百万円	448百万円

### <数値指標・目標値の考え方>

本地域の人口減少が急速に進む中で、中・長期的には大きな改善は期待できないが、直近では、新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んでいた需要の回復が見込まれており、更に、地域における収支改善や利用促進の取組、本計画の施策・事業の実施により、年1%の改善を目標とする。